

【 . 施策に対する意見・提言】

滝尾・明野地区促進期成会からの要望(H29.6)
・地域高規格道路「大分中央幹線道路」(庄の原佐野線)の「下郡工区」の早期完成を強く要望する。
大分県商工会議所連合会知事要望(H29.10)
・九州横軸や九州の一体的な発展を図るため、地域高規格道路中九州横断道路(竹田～阿蘇間)の早期事業化に特段のご配慮をお願いしたい。
・北部九州の産業活性化や地域経済の発展、更には広域観光の振興のため、「中津日田道路」建設促進について特段のご配慮をお願いしたい。

大分県商工会議所連合会知事要望(H29.10)
・国道197号鶴崎拡幅、並びに国道442号宗方拡幅の早期整備。
経済5団体「東九州新幹線の早期実現について」の要望(H29.11)
・東九州と西九州を一体的に発展し「九州は一つ」の理念を実現するため、東九州新幹線の早期実現について特段の配慮をお願いしたい。

【 . 推進上の課題と今後の展開について】

東九州自動車道の北九州市から宮崎市までの開通により九州全体が高速道路ネットワークで結ばれ、人の流れ、物の流れが活発化している。本州・四国との間を結ぶ多くのフェリー航路を有し、海路と陸路が結節する位置にある本県では、H29.3月に「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」を策定し、人の流れ、物の流れの拠点としての機能強化を図り、陸海空のハブ・アンド・スポークの強化に取り組んでいくこととしている。

このため、人の流れの基幹拠点と位置付ける別府港の再編を始め、手狭な大分空港国際線ターミナルビルの拡張や台湾線の誘致などによる国際線の充実、港湾とインターチェンジを結ぶアクセス道路の整備、東九州自動車道の4車線化、中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路等の整備推進を図る。

さらに、東九州新幹線についても、H28.10月に「大分県東九州新幹線整備推進期成会」を設立し、国への要望や機運醸成のためのシンポジウムを開催するなどの活動を行っており、今後も整備計画路線への格上げに向けて取り組んでいく。

近年多発する豪雨災害等の検証を踏まえ、河川改良復旧を着実かつ迅速に進め、浸水被害の軽減に努めるほか、市町村が行うハザードマップ作成の支援や、孤立可能性集落の通信設備整備の重層化を促進するとともに、独自の避難訓練等の企画や実施が困難な自治会等に専門チーム(行政、防災関係者等)を派遣し、訓練の計画から実施までを直接支援する。

南海トラフ地震への備えとして、H31年度の完了に向けた緊急輸送道路上の橋梁の耐震化を計画的に進め、住宅の耐震化を促進するための耐震アドバイザーの無償派遣や、耐震診断を定額負担により取り組んでいく。